

第2章 地域の概況

第2章 地域の概況

2.1 圏域の概要

長野広域連合(長野地域広域市町村圏)は、長野県の北部に位置し、県全体の11.5%に当たる1,566.07 km²の面積を有し、東西約56 km、南北約50 kmのほぼ円形に包含される地域を圏域とし、人口規模約56万人余を擁する県内最大、全国でも有数規模の広域市町村圏である。

構成市町村は、3市5町3村(長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信州新町、信濃町、小川村、中条村及び飯綱町)で構成されており、長野地域(長野市)、須高地域(須坂市、小布施町、高山村)、北部地域(旧豊野町、信濃町、飯綱町、旧戸隠村、旧鬼無里村)、西部地域(信州新町、中条村、小川村、旧大岡村)、更埴地域(千曲市、坂城町)の5地域に区分されている。

緑豊かな山々と自然の宝庫である高原や、千曲川及び犀川などの水量豊富な河川は、山里の自然環境とともに固有の風土を生み出し、また、それらに育まれた多くの優れた歴史遺産や伝統文化は、本圏域の特色ある産業の基盤にもなっている。

本事業の実施予定地を含む、長野地域(長野市)は圏域の中央に位置し、圏域人口の約67%を擁する、政治・経済・文化の中心であり、圏域の都心として主導的な役割を担っている。

本事業予定地となる長野市松岡二丁目は長野市街地から東南2kmのところに位置しており、長野市の行政区としては大豆島地区に含まれる住宅地を中心とした地域である。本地域では昭和61年から平成16年にかけて松岡土地区画整理事業が実施され、土地区画の整備が行われたことにより住宅及び産業の分野における発展が期待できる地域となっている。また、幹線道路として東外環状線が整備されることから、地域の交通利便性向上により、今後、本圏域の都市機能の一翼を担う地域である。